

家畜衛生広報



ながの

長野家畜保健衛生所
北信家畜畜産物衛生指導協会
〒380-0944 長野市安茂里米村1993
Tel 026-226-0923 Facs.026-227-2665
E-mail: nagakachiku@pref.nagano.lg.jp

口蹄疫7例目発生! 警戒してください!!

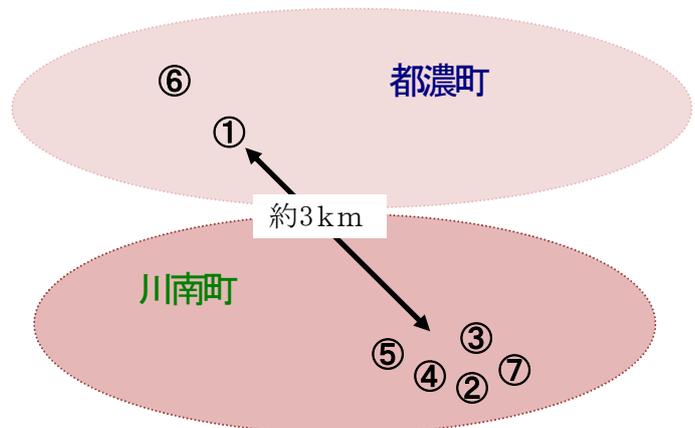
4月20日以降に宮崎県児湯郡都濃町と川南町で疑似患畜が確認された口蹄疫は、4月25日現在、7戸の農場に広がっています。1例目の材料からは、原因ウイルスが検出され、口蹄疫(O型)であることが確定しました。1例目の症状が確認されたのは4月9日でしたが、6例目は3月31日に採った材料からウイルス遺伝子が検出されており、3月下旬には既にウイルスが動き出していたことが疑われます。

感染が拡大すると、畜産業に**壊滅的な被害**を及ぼすことが懸念されますので、裏面の対策等を参考に最大限の警戒をしてください。また、飼養家畜に**異常**を認めた場合や**気づいた点**がありましたら、落ち着いて、速やかに、**家畜保健衛生所、獣医師等へ連絡**してください。

【患畜、疑似患畜の発生状況】

番号	確認日時	発生場所	発生農家飼養状況	遺伝子検出	ウイルス検出
①	4月20日	都農町	繁殖牛9頭、育成牛3頭、仔牛4頭	○	○
②	4月21日	川南町	搾乳牛30頭、繁殖牛3頭、育成12頭、肥育牛15頭、子牛8頭	○	
③	4月21日	川南町	和牛肥育84頭、交雑種肥育34頭	○	
④	4月22日	川南町	繁殖牛35頭、育成牛5頭、仔牛24頭	○	
⑤	4月23日	川南町	繁殖牛44頭、育成牛1頭、肥育牛6頭、仔牛24頭	○	
⑥	4月23日	都農町	水牛42頭、豚2頭	○	
⑦	4月25日	川南町	黒毛和種肥育牛725頭	○	

【発生場所】



※ 発生状況は、以下のアドレスで随時更新されていますので参考にしてください。

農林水産省 <http://www.maff.go.jp/j/press/index.html>

宮崎県 <http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/nosei/chikusan/miyazakicow/h22kouteindex.html>

【口蹄疫とは】

牛、豚、めん羊、山羊などの**偶蹄類**に**感染**する**急性**かつ**悪性**の**伝染病**です。

症状 突然40～41℃の発熱、元気消失に陥ると同時に多量の流涎(よだれ)がみられ、口、蹄、乳頭などに水疱(みずぶくれ)やびらんを形成し、食欲不振、跛行(足を引きずる)を呈する。

治療法 ありません(患畜及び疑似患畜は、まん延防止のために殺処分する)。

伝播様式 唾液、鼻汁、乳汁、精液、糞便及び汚染物品等との接触、呼吸による飛沫感染。

潜伏期間 牛では2～8日、豚では2～10日。



流涎と鼻腔内水疱 (宮崎県提供)



上唇部水疱破裂 (動物衛生研究所及び宮崎県提供)



蹄の間の水疱



【生産現場における7つの対策】

1 畜舎の出入時には必ず洗浄と消毒

有効な消毒薬：消石灰、複合塩素剤等

畜舎出入口に消毒槽を設け、出入りの際には履き物の洗浄と消毒をしましょう。

2 外部の人は畜舎に入れない

関係者以外は極力畜舎に入れないようにしましょう。農場への車両の出入りも制限しましょう。

3 発生地への旅行やみやげ物などに注意

発生地域への旅行は自粛しましょう。やむを得ず旅行する際には、畜産農家への訪問を自粛する他、偶蹄類ら生産された畜産物(肉、乳及びそれらの加工品)等は、絶対に持ち帰らないようにしましょう。

4 食品残さは加熱して給与

調理品残さなどで口蹄疫が拡大した事例があります。

5 購入飼料は出所を確認

6 人、車両の立入り等について、日時・目的等を記録

7 家畜に異常があったらすぐに連絡

伝染病の三要素

- 1 病原体
- 2 感染経路
- 3 感受性動物

【緊急連絡先】

電話 026-226-0923 (休日、夜間はお電話で)

ファクス 026-227-2665

電子メール nagakachiku@pref.nagano.lg.jp